

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2301144	家庭科教育法 D Teaching Method of Home Economics D	森山三千江	専門	2	選択	3年 後期
<b>科目の概要</b>						
家庭科教員として様々な方法で授業が考案できるようになるために知識と手法を身につける授業である。色々な家庭科の授業実践を研究し、自分で考案した模擬授業の指導案を作成、さらに実際に指導案に沿った授業を行い、学生同士で批評を行うことにより、授業が指導案に示された通り円滑に行われ、目的を授業時間に到達することができるような知識と技術を修得する。授業形式として講義だけの形式に捕われず、授業形態がアクティブラーニングでおこなえるように工夫を凝らして授業が実施出来るような力量を身につける。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 家庭科教科書の内容を掌握する。 ② 家庭科の指導要領の記述を理解する。 ③ 指導案を計画し、考案することができる。 ④ 指導案に沿って授業を行う。 ⑤ 授業後に評価をきちんとできる。			①教科書を精読し、その内容を説明できるようになる。 ②指導要領に示された目標について把握する。 ③単元の目的に沿って指導案を作成することができる。 ④作成された指導案の目的を達成できる手法を用いて授業を行うことができる。 ⑤授業後に評価ができるような授業計画を立てることができる			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	授業内容について研究を行い、指導案作成に取り組むことができる。				
	働きかけ力	内容を理解することが難しい場合、教員や他の学生に声をかけが出来る。				
	実行力	様々な授業の手法を研究して、指導案を作成することができる。				
考え抜く力	課題発見力	生徒が苦手と思われる箇所を考え、よりわかり安い指導方法を考案することができる。				
	計画力	授業に必要な教材や資料を準備し、授業を行う上で不足するものが無いように出来る。				
	創造力	自分が考案した指導方法を用いて授業を行うことができる。				
チームで働く力	発信力	模擬授業受講者の反応を見て、授業を工夫しながら進めることができる。				
	傾聴力	他の学生の授業をきちんと聞き、正しく評価を行う事ができる。				
	柔軟性	授業の遅れや予期せぬ展開が生じたときに適切な処理が出来る。				
	状況把握力	授業の進行度合いにより、適切な声かけを行い進行させることができる。				
	規律性	授業に遅れない、身支度がきちんと出来る。				
	ストレスコントロール力	授業進行の不手際などにも対処して、授業を進めることができる。				
<b>テキスト及び参考文献</b>						
教科書：子どもが生きる家庭科 海隆堂 参考書：中学・高校の家庭科教科書						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目：栄養、被服、家庭経済など家庭科に関する科目全般 資格：中学校教諭一種(家庭)、高等学校教諭一種(家庭)						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
自分がこれまでに受けてきた中学、高校の家庭科授業を思い出し、どのような授業が理解しやすいかを考えて指導案を作成すること。生徒が自ら考えることができるように知識を与え、教諭の意見を押し付けないこと。			遅刻・欠席をしない。教員を希望するものとして受講態度は特に規律正しく受講すること。学生の立場でなく、教員としてどのように振る舞えばよいのかを考えて指導案作成や授業を行うようにすること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
小テスト		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
レポート	40	①	家庭科の内容を深く理解し、その内容について自分の意見を持ち正しく論述できているか。断片的な知識を切り貼りするのではなく、文章の構成がしっかりとしており、その中で自分自身が考えて課題に対して意見をはっきり述べているかを重要視する。当然であるが締切り期日を守ることは必須である。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
成果発表 (口頭・実技)	50	①	授業の目的は明確に示された指導案を作成しているか、また、単元の目標が生徒に伝わる授業を構成しており、授業の手法としては講義だけではなく、様々な手法を用いて生徒の興味を引き、積極的に授業に参加させようとしているのかを評価観点とする。又、他の学生の授業を受けることにより、その授業が単元目標に対して的確であり、授業の進行も不備がないか指摘できることも、授業への積極的に参加したとして評価する。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
作品		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	(主体性)自ら進んで授業実践について調べ学習を進めているか。 (実行力)授業内容について研究を深め、指導案を作成することが出来る。 (課題発見力)模擬授業を行った後、指導方法の改善案が考えられるか。 (創造力)自ら考案した指導方法で授業を行うことが出来る。 (発信力)受講者の反応に対応して授業を進めることが出来る。 (傾聴力)他の学生の授業を体験し、正しく評価を行う事が出来るか。 (規律性)遅刻・欠席をしない、実習時に身支度がきちんと出来ている。指導案・レポートを期日までに提出出来るか。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
指導案は授業内容の研究がきちんとなされて作成されている。模擬授業時の準備が万全になされており、他の学生の模擬授業ではきちんと授業を聞き、的確な感想が言えればAとする。授業の手法としてアクティブラーニングを取り入れるなど、単元目標を達成するために塾考された指導案作成と実行することはSを修得するためには必要である。	授業一時間分の指導案がきちんと書いており、それに沿った授業を行い、他の学生の模擬授業時に意見が言える。教科内容であるレポート課題に対して、字数制限をクリアして書かれていればBとする。単元目標があまり達成できるとは考えられず、工夫も見られない指導案と自らの意見がはっきりと述べられていないレポートではCとする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	家庭科教科書の内容全体を把握する。	講義 グループ討議 質疑応答	家庭科教科書の各単元の内容を大体説明できる。	(予習)教科書を熟読し、説明出来るようにしてくる (復習)授業内容について理解したところをまとめる	180	実行力 発信力 傾聴力
2週 /	指導要領における各単元目標を理解する。	プレゼンテーション ディスカッション グループ討議	指導要領における各単元目標を述べることができる	(予習)指導要領を熟読する、 (復習)各単元の目標をまとめる	180	主体性 発信力 課題発見力
3週 /	授業実践例の紹介 1 食品添加物に関する模擬授業を行う	講義および実習・演習	食品添加物に関する授業実践例(実験後にプリント記入)の紹介と、授業展開を考える。	(予習)食品添加物に関する授業を考えてくる (復習)指導方法や資料に不足がないか振り返る	90	主体性 発信力 傾聴力
4週 /	授業実践例の紹介 2 「子どもの生活を知る」の単元の授業例の紹介をする	講義および実習・演習	子どもの遊びを幼児とともに体験する指導案を考え、実際に授業の展開が出来るようにする。	(予習)保育領域の授業実践例を考える (復習)授業実践例で指導方法についての確認をする	180	主体性 傾聴力 課題発見力
5週 /	授業実践例の紹介 3 ジェンダーに関する授業の紹介をする	講義およびグループ討議	ジェンダーに関する授業実践例(多様な性を知ろう)の紹介と、ジェンダーの問題点を考える。	(予習)ジェンダーに関する授業例を考えてくる (復習)ジェンダーの問題点の復習	180	主体性 実行力 柔軟性 傾聴力
6週 /	授業実践例の紹介 4 家庭経済に関する授業の紹介をする	講義および演習・実習	家庭経済に関する授業実践例の紹介と内容を理解し、知識を蓄積する。	(予習)家庭経済に関する授業実践例を考える (復習)家庭経済に関する授業実践の指導方法を振り返る	180	主体性 実行力 計画力 柔軟性
7週 /	模擬授業体験 1 社会における家庭と地域の関わりについて模擬授業を行う	授業実践、講義・演習・実験実習	社会における家庭と地域の関わりについて指導案を作成後、学生による模擬授業を行い、実践者と受講者で内容を討論する。	(予習)社会における家庭と地域の関わりに関する授業を考える (復習)指導法および教員の態度について振り返る	180	主体性 実行力 計画力
8週 /	模擬授業体験 2 「高齢者社会を生きる」の単元の模擬授業で介助の仕方を具体的に学ぶ	授業実践、講義・演習・実験実習	「高齢者社会を生きる」の単元で介助の仕方を具体的に実習し、注意点等を話し合う授業を考え、学生による模擬授業を行い、実践者と受講者で内容を討論する。	(予習)「高齢者社会を生きる」の単元の指導方法を考える (復習)生徒に理解できる授業展開であったかを振り返り問題点を書き出す	180	主体性 実行力 計画力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	模擬授業体験3 「食生活について」現代の食生活の模擬授業を行う	授業実践、講義・演習・実験実習	「食生活について」現代の食生活で何が問題となっているのかグループでの討議を行う授業案を考え、学生による模擬授業を行い、実践者と受講者で内容を討論する。	(予習)現代の食生活で何が問題であるかについての授業を考える (復習)実践例に問題点がないか振り返りまとめる	180	主体性 実行力 計画力
10週 /	模擬授業体験4 「衣生活をつくる」の単元で汚れの種類と洗濯の仕方について実験の模擬授業を行う	授業実践、講義・演習・実験実習	「衣生活をつくる」の単元で汚れの種類と洗濯の仕方について実験を通じて、汚れの種類により、洗濯の方法が異なる模擬授業を行い、実践者と受講者で内容を討論する。	(予習)汚れの種類と洗濯の仕方について実験を考える (復習)指導の中での実験という手法について利点をまとめる	180	主体性 実行力 計画力
11週 /	模擬授業体験5 「安全で快適な住生活をつくろう」の単元で、各自で地震対策のチェック項目を入れた模擬授業を行う	授業実践、講義・演習・実験実習	「安全で快適な住生活をつくろう」の単元で、各自で地震対策のチェックを行い、日頃からどのような準備をしておいたのかを学ぶ模擬授業を行い、実践者と受講者で内容を討論する。	(予習)地震対策のチェックをする自動案を考える (復習)生徒に分かりやすい授業であるか振り返り、改良点をまとめる	180	主体性 実行力 計画力
12週 /	模擬授業体験6 「持続可能な社会」の単元で各自が現在の生活の中で、持続可能な社会の模擬授業を行う	授業実践、講義・演習・実験実習	「持続可能な社会」の単元で各自が現在の生活の中で、持続可能な社会には何が出来るのか具体的な事柄をあげて、出来る事柄を気づかせる授業を考える (復習)分かりやすい授業であったか振り返り、改良点を書き出す	(予習)持続可能な社会には何が出来るのか具体的な事柄をあげて、出来る事柄を気づかせる授業を考える (復習)分かりやすい授業であったか振り返り、改良点を書き出す	180	主体性 実行力 計画力
13週 /	模擬授業体験7 ネットショッピング等、インターネットでの落とし穴に付いてコンピューターを使用した模擬授業を行う	授業実践、講義・演習・実験実習	ネットショッピング等、インターネットでの落とし穴に付いてコンピューターを使用した授業の展開例を紹介し、具体的にインターネットを使用した模擬授業を行い、実践者と受講者で内容を討論する。	(予習)ネットショッピングに関する授業例を考える (復習)生徒に分かりやすい授業であったか振り返り、改良点をまとめる	180	主体性 実行力 計画力
14週 /	教材研究 家庭科の授業内容全般の復習、各自で授業案作成に必要な教材研究をする	授業実践、講義・演習・実験実習	家庭科の授業内容全般の復習、各自で授業案作成して具体的な家庭科の内容について学生同士で討論し知識を深める。	(予習)各自で授業案作成してくる (復習)指導案についてお互いに不足点を見だし討論結果をまとめる	180	主体性 実行力 計画力
15週 /	評価基準の検討 模擬授業に関してどのような評価基準がふさわしいのか検討する	講義・討論・発表	お互いの模擬授業を評価しあい、より良い授業の指導方法について考える。	(予習)授業内容の評価方法にはどのようなものがあるか考える (復習)評価方法の異なる指導案を討論結果より再度作成する	180	主体性 実行力 計画力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力